

全力を尽した後の笑顔さわやか



4月29日、対抗駅伝終了後、松本平広域公園で



第651号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (5月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,384人
 女 3,496人
 総人口 6,880人
 世帯数 2,099戸

力を合わせ強豪と渡り合え

豊丘村対抗駅伝で豊丘チーム健闘

豊丘村対抗駅伝が、四月二十九日に松本市で開催され、豊丘村チームは、酒井浩文監督の下、片桐美夢、福澤大誠、酒井一、小島康弘、原武司、中平理希、松村佳奈、中山真樹、松村健一の各選手が出場しました。また、同日行なわれた小学生の大会には、宮下莉瑚、菅沼心太、高本美咲、亀山竜の各選手が出場しました。

みんなの心を

ひとつに

世代を超えた

タスキリレー

豊丘村チーム監督
 酒井浩文

今回で二十五回目となる市町村対抗駅伝大会と、十一回目となる市町村対抗小学生駅伝大会が四月二十九日、松本平広域公園陸上競

技場を発着点に開催されました。豊丘村チームはこの大会に第二回大会から連続出場。また、小学生駅伝も十一回連続で参加しており、かつては村の部で三回の優勝という輝かしい時代もありました。今大会よりこの駅伝大会出場に向けた運営が、とよおか総合型地域スポーツクラブに委託され、今まで教育委員会に依存していた運営から、住民と教育委員会が連携して運営す

る、新しいスタイルでの出場となりました。今回この大会の監督を久しぶりにお受けして、最初に取り組んだことは、明るく元気なチームの雰囲気づくりでした。毎年のことながら、近年のランニングブームに反し、自ら進んで駅伝に参加したいという選手が少なく、選手の確保に苦労する中、小学生は各学校からの推薦により「走ることが好き」な子どもたちが集まりまし

た。また、高校生や社会人は、トップアスリートからファンランナーまで、多様な顔触れによる、とても明るい元気なチームとなりました。大会に向けての練習は、自主的な個人練習をベースに、チームワークを高めるため数回の合同練習を行ない、駅伝出場という共通の目標の下、走ることや駅伝の楽しさを、世代を超えて共感できる場づくり・雰囲気づくりができました。こうした関係が功を奏してか、駅伝大会当日はチームワーク抜群で、今回メンバーから外れた選手も付添サポートとして全員参加し、チームのために仲間のためにみんな協力しあう「全員駅伝」のチームができました。さて当日の結果ですが、市町村駅伝は参加五十七チーム中三十九位(昨年三十八位)、小学生駅伝は参加六十

二チーム中四十二位(昨年四十位)と、ここ数年ほぼ同じ順位を維持しており、選手層が薄いながらも、順位を著しく落とすことなく、毎年多彩な顔ぶれで楽しく出場できることこそ、豊丘村の地域性であり伝統ではないかと感じています。結果は良いに越したことはありませんが、この駅伝大会の目的である、駅伝を通じて地域の絆づくりは十分果たせていると確信しています。今年この駅伝大会は終わりましたが、ゴールは次の目標に向けての新たなスタートです。また来年も明るく元気なチームで出場したいと思えます。ぜひ来年はあなたも一緒に走りませんか？

最後になりましたが、選手の皆様、サポーターの皆様、豊丘村の皆様、応援ありがとうございました。音楽リリースも、CD、そしてネット配信が普及した。しかし最近では、レコードが見直され、中古はもちろん新譜も発売されているようだ。世の中失われる物に魅力を感じる人も多く、当然「昭和家電」好きの人もいるようだ。数年前に見たアニメでは、現代の高校が舞台なのに、昭和五十年頃のS社のラジカセを使うシーンがあり驚いてしまった。実は昭和家電好きには人気の機種で、今だ修理を繰り返して使っている人をTVで紹介していた。しかし一番驚いたのは、私自身がウロ覚えながらもそのラジカセの型番を覚えていた事だった。

豊丘中 溝上先生

北小 大蔵先生

村内の学校に新しい校長先生

目指すゴールは、「子どもの幸せ、家族の喜び、地域の発展」

豊丘中学校長 溝上 正弘

このたび伝統ある豊丘中学校長に着任いたしました

心を響かせ合って

豊丘北小学校長 大蔵 和幸

豊丘北小学校から雄大な山並みを望むことができません。校長室から太陽の光を受けて遊ぶ子ども達の姿が見えます。素敵な環境に恵



溝上正弘と申します。前任校は竜東中学校です。着任後の一ヶ月間、生徒たちの明るい笑顔と爽やかな歌声、先生方の熱意、保護者や地



まれたこの学校に四月よりお世話になることができ、嬉しく思います。人はきれいなものを見ると感動し、その感動を素直

に言葉に表すと音が耳に返って景色の美しさを全身で感じることが出来ます。同様に、子ども達一人ひとりの輝きを言葉で伝え合うことや思いやりのある言葉を交わし合うことで、豊丘北小学校を全身で受け止める本気を大切に、みんな

が楽しい雰囲気の中で学校生活を過ごしていけるようにしていきます。学校を創るためには、子ども・職員・保護者・地域の方々と同じ方向を目指していくことが求められます。豊丘北小学校を支えてくださる皆さん、よろしくお願

いいたします。(吉川土郎)

段丘

大型連休が始まる四月二十九日は昭和の日で、ラジオでは昭和を懐かしむ特別番組が放送されていた。主に三十年代以降の話題とヒット曲がかかっていたが、学生時代を過ごした四十年代後半〜五十年代前半の曲は、特に懐かしく感じられた。

平成も既に二十六年余の月日が過ぎたが、昭和と平成の違いを挙げるのなら、身近な物では家電製品の変化だろう。大きなブラウン管TVは姿を消し、子供はビデオやカセットテープなど知らないだろう。一方、物は無くなっても、「チャンネルを回す」「ダイヤルする」といった言葉がつい口をつく事もある。

村の更なる発展を期待

村長・村議改選に合わせ、村民の声を拾う

四月に村長、村議会議員の改選があり、二十六日に投票が行なわれました。村長については、下平喜隆さんの他に立候補者がなく、無投票当選が決まり、二期目の村政を担うことになりました。また、村議会議員については、定数十四名のところ十五名が立候補し、選挙期間中は村内各所で活発な選挙戦が展開され、投票の結果、十四名の当選が決まりました。この度の改選で見事当選された村長及び村議会議員の皆様におかれましては、どうか健康には十分留意され、村の発展のためにご尽力していただきますよう、お願いしたいと思います。

四月に村長、村議会議員の改選があり、二十六日に投票が行なわれました。村長については、下平喜隆さんがどのような意見や考え方をもっているのか声を集めてみました。

七十代男性 河野

議員定数が多いのではないかと。十四人は市クラスである。浮いた分を子どもたちの育成の為に使ってほしい。若い人たちが永住できるように村づくりを期待する。議員ばかりではなく、村民も興味をもって村づくりに参加してほしい。

六十代女性 神稲

当選おめでとうございました。初心を忘れずに議員としての自覚を持って、活動して下さい。住民目線を持って頑張ってください。住民の目線は厳しい事を、い

つも頭において下さい。介護保険が高すぎる。年金で生活している人の負担が非常に大きい。

六十代男性 河野

安心してお年寄りの方が暮らせるように。若い人の働く場所があって、安心して生活できるよう支援する政策をとってほしい。豊丘は都市だけではなく、他の市町村との交流をすべき。観光客を呼びこむだけではなく、地域全体での交流があればよいと思う。

六十代男性 河野

子育て支援対策で新しく来てくれた人たちが、定着できるように、建物だけではなく、コミュニティを中心

とした地域づくりに村としてのビジョンを明確にあげるべき、それに基づいてそれぞれの立場での実践の道筋が見えてくる。

五十代女性 河野

滝川へのぼる道の整備を陽がよく当たるようにしてほしい。村全体に交通

弱者の為の対策をお願いしたい。

五十代女性 河野

道の駅に、農家の人の立場で売る店や、地元の人都会の人が安心安全なものを直接販売できるような場所をつくってほしい。農家も買う人も両方がよろこべ

村長・村議会議員改選結果

下平喜隆	無投票当選
平沢恒雄	四五二票
滝川利秋	四〇六票
松村正三	三八五票
片桐忠彦	三七四票
片桐義憲	三六三票
酒井浩文	三二二票
竹村直子	二九三票
松下亨	二八二票
唐沢啓六	二四五票
川野孝子	二〇八票
下平豊久	一九七票
吉川明博	一八四票
井原康明	一三八票
唐沢健	一三三票
栗沢知司	一〇六票

〈村長〉

下平喜隆

無投票当選

四十代女性 神稲

公約を実行できるように、しっかりとやってほしいと思います。とよおかチャンネルの選挙速報を見ていて思ったのは、開票の様子を、ただ放送するだけでなく、どういう役割の人が、どの位いるのか、開票立会人という人は、どのように決めたかとか、説明を入れてほしいと思った。

二十代男性 神稲

議員経験年数に関係なく、それぞれの考えが発表できるように、風通しのいい議会であってほしい。

二十代男性 神稲

投票に行かない人がいるけれど、少しでも行く人が増えるように、選挙のある時だけでなく、普通の時も子ども頃から投票する大切さを教えた方がいいと思う。

二十代女性 河野

子育て支援に力を入れてほしい。未満児が希望する保育園に入ることができない。三園ともに、建物と駐車場を大きくしてほしい。

十代女性 神稲

大切な税金の使い道は、しっかり議会で話し合っ決めてほしい。若い人達の投票率が低いと思うので、関心を持ってもらえるように、みんなで考えていかないとだめだと思ふ。

文責 原 明美
小池 淳子

片桐 操さん

九十四歳

廣男さん

八十五歳

御夫妻 林里在住



操さんが片桐家に嫁いで来られた頃は第二次大戦も終末になっていた。御主人は召集され、ビルマ戦線に派遣されたが、幸いにも故郷に帰ることができた。しかしマラリヤに感染していた。闘病生活中に階段から転落し間もなく死亡された。そうした不幸の悲しみに沈んでいる所に廣男さんが除隊して帰って来られた。当時こうした時に行われていた「弟なおし」という仕来りて御夫婦になられた。戦中戦後しばらくの間の苦労は語るに及ばないが、仲睦まじくお過ごしの子は私達をお迎え下さったお二人の表情から十分に察せられた。廣男さんは建設業などに携わりながら家庭に精を出し、操さんは農業や家事育児などに専念する。現在操さんは健康維持のために近くの熊野神社まで毎日歩いたり、デイサービスに行ったりして多くの人と話

国や地域の将来は自分で決める意識を

選挙は民主主義の前提、ぜひ投票を！

四月に統一地方選挙が行なわれましたが、残念ながら投票率は下降傾向にあります。選挙は民主主義を維持する前提であり、良い選挙が良い社会を築くことに通じていきます。そこで村の選挙管理委員会に、今回の統一地方選挙に関する村内の投票率をお聞きし、記

事を寄せていただきました。一考する必要があります。

統一地方選挙を終えて

豊丘村選挙管理委員会 委員長 原 紀広

四月十二日に長野県議会議員一般選挙が行なわれ、下伊那郡区は三人が立候補

し、二人が当選されました。豊丘村の投票率は六〇・九六％で前回平成二十三年は七〇・八％で、九・八六％低くなっておりま

また、四月二十六日に豊丘村議会議員一般選挙が行なわれ、投票率は七五・七八％で前回平成二十三年は八六・〇八％で、一〇・三

％も低くなりました。前回は村長選挙と村議会議員選挙がセットで行なわれたため、関心が高かったと思われま

今回の統一地方選挙の投票率は、全国的にも低くなっておりま

国では今公職選挙法の改正をして、年齢を十八歳まで引き下げて投票できるよう検討をされています。今回の統一地方選挙では、大

外に目を向けますと、発

私共は自由に投票ができ、非常に恵まれておりますので多くの皆さんに関心を持って頂き、自分達の国の将来は自分達が決めるんだ、と言う責任感と意識の高揚を願うものです。

外に目を向けますと、発

シリーズ 元氣な高齢者⑨ 正月の兄弟会が健康の源

操さんが片桐家に嫁いで来られた頃は第二次大戦も終末になっていた。御主人は召集され、ビルマ戦線に派遣されたが、幸いにも故郷に帰ることができた。しかしマラリヤに感染していた。闘病生活中に階段から転落し間もなく死亡された。そうした不幸の悲しみに沈んでいる所に廣男さんが除隊して帰って来られた。当時こうした時に行われていた「弟なおし」という仕来りて御夫婦になられた。戦中戦後しばらくの間の苦労は語るに及ばないが、仲睦まじくお過ごしの子は私達をお迎え下さったお二人の表情から十分に察せられた。廣男さんは建設業などに携わりながら家庭に精を出し、操さんは農業や家事育児などに専念する。現在操さんは健康維持のために近くの熊野神社まで毎日歩いたり、デイサービスに行ったりして多くの人と話

懐かしげに語って下さった。また、当初初嫁様には晴れ着を着せて部落内を姑さんが連れて歩きお披露目をした様子などをお話し下さる様子は幸せそのものであった。更に娘さん及び嫁さんが度々尋ねて来てくれたり各地に連れて行って、殊に海外旅行に何回も行ったのは嬉しい思い出である。また、毎年正月の恒例行事となつている兄弟会は心身共に健康の源となつている。 文責 日下部富次 桐崎 長一

豊丘の自然

~シリーズ~
No.139

フデリンドウ (リンドウ科)



「春を紹介しようと思つてハルリンドウを探しに出かけた。すぐに見つかった。乾燥した土手に、背丈は十センチたらずの野草。ところが、念のため図鑑で調べてみると、どうもハルリンドウではないようだ。「根生葉はロゼット状につき卵形」とあるが、私が見つけたものには、ロゼット状の根生葉がないのだ。しかたなく、ページをめくっていくと、「根生葉は

小さく、ロゼット状にならない」とのフデリンドウにたどりついた。生息環境もちがう。ハルリンドウは「日当たりのよい、やや湿った山野」とある。周りの植物が大きくならないうちに、花を咲かせ、実をつける。そして、環境を少しかえることによつて生存する両者。(山田 拓)

公民館の第一回親子セミナーが五月九日(土)に開かれ、八組十九人が参加して春の若菜摘みと山菜クッキングを楽しんだ。この親子セミナーは、自然学習や料理実習などを通じて親子が絆を深め、参加者たちとも交流してもらおうと、毎年開かれている。今回は松川町在住で、信州・山の達人に認定されている堤久さんを講師にお招きし、山菜に関する基礎知識や調理方法にあわせた摘み方などの指導を受けた。この日採取したのは、「ニセアカシア、ノビル、ヨモギ、アマナ(カンゾウ)、アカツメクサ(クローバー)、ハルジオン、スギナなど。いずれも道端や土手など身近な場所に生えている植物だ。堤さんからは採取する植物に応じて、天ぷらのタネにするので柔らかい部分だけを摘むこと。油で揚げ



堤先生の名解説に参加者も興味津々

若菜 摘み 調理 楽しむ

5月9日、親子セミナー

と甘味が出る。パンケーキにするのと香りが増すことなど、要所でワンポイント解説があった。その話を聞いた子供たちは、目を輝かせて次々と若菜を摘み取り、持参したビニール袋に詰め込んでいた。持ち帰った山菜は、年中の園児も含め、参加者全員が協力し合つて調理。天ぷら、おひたし、和え物、みそ汁、パンケーキなどを作った。参加者からは、「これまでスギナには除草剤をかけていたが、これからは家でも天ぷらにしてみたい。」などの感想が聞かれた。講師された堤さんは、「調理に園児が加わるセミナーは初めてだ。この触れ合いを大切に。」と、えびす顔で子供たちの頭を撫でていた。(公民館主事・竹村久永)

村政を語るのことは 夢を語ることに

中 芝
小池 淳子



四月より公民館報の編集

どうぞよろしく

新しい公民館報編集委員

楽しみに読む 館報作りを

林 原 明美



四月から編集委員になりました。林原の原明美です。豊丘に嫁いで二十三年になります。その間には、地区、子供、職場のつながりなどで、大勢の方と知り合う事ができました。そのつながりに助けられて過ごしてきました。今回編集委員の話をいただいて、今までのつながりに感謝して、少しでもお返しができればと思い、今回やらせていただく事にしました。他の委員の方と協力し合い、地域の皆さんに楽しみに読んでもらえる館報作りを目指そうと思っております。よろしくお願ひします。

俳句 短歌

なまこ壁添ふ小径へと土佐みずき
片栗や威風を今に海鼠壁
片栗の花愛でながら俳句会
春一番竹をなびかせ駆け抜けけり
足ばやに四月となりて萌え出づる
若者の獅子舞デビュー宮の春
山里に行きつ戻りつ春の音
春眼の醒めてこの身の軽さかな
鶯や醬油を仕込む木曾の谷
段丘に響く笛の音花明り
雨後の雉子雄々しく動き農休地
スカイツリーの春陽を呼べり乳母車
磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
下平 玲子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
北原 昭子

八十路すぎ迷いていしが乳癌の手術受けしと友より便りが
透明の小瓶につめし今日の春ふきのとう味噌野蒜のかおり
信号を待ちいる吾に子供等は青くなつたよと声かけてゆく
松島 八重
梨園の花に紛れつ消えてゆく雉子の二声あたりひき裂く
河原 梨花
庭に咲くすみれの花に越冬に耐えたる豹紋蝶のひらりと舞う
岳 道

健やかに中学生となりし曾孫笑めば真白き八重歯がチラリ
ボタン雪季節はずれと嘆きても春はもうすぐ雪解け早し
毛涯百合子
愛すべき我が子苛む危うさに踏むべき道を誤らないで
北澤 秀子
物干しに掛かるハンガー右左揃って揺られてダンスしている
大倉 知江
「孟宗の筍」ならぬ雪中にハウスの苺真つ赤に笑まふ(二十四孝)
福澤 亀人

豊丘川柳クラブ豊柳会

▼課題「走」久保ひろし 選
ご馳走だよもぎの香ばあ味の 小澤 凜
走ります陽気に誘われ年忘れ 宇井恵美子
泣き笑い走りつづけて傘寿なる 西元 峯子
天竜をまたいで走るリニア線 宮島 昭三
軸吟：走らずにそろそろ行くさリニア線

▼課題「増」互 選
レントゲン結果食欲増して行く 安田 喜子
増量でついでたまされる高齢者 市沢 照子
保険税増えて介護の質落ちる 桃沢 健介
忌憚ない意見を言つて敵が増え 林 桃子
増税し社会保障がなぜ目減り 原 美風

▼自由吟 桃沢健介 選
生活費押さえてスマホ欠かせない 久保ひろし
投票率落ちも落ちたり四十八 吉川 燎
原発に司法肅々鉦をふり 福沢 勝美
軸吟：一人落ち村の選挙は乱気流

鹿角 秀次	古畑 飯田市	林 志つゑ	武司 寺垣外
北原 妙	飯田市	小澤 勇	77
原 優輔	仲太郎	酒井 静子	79
竹下 剛生	祥一	竹村 タマ	86
子氏名 届出人	自治会	高田 誠	88
岩瀬 昌靖	飯田市	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市
菅沼 真澄	林里二	小池 寿幸	林 原
小池 寿幸	林 原	藤森 あかね	駒ヶ根市
片桐 祐輔	山田	矢澤 みゆき	飯田市
北澤 昌靖	山田	岩瀬 弥与美	飯田市